

平成30年5月26日 東京アカデミーによる「教職教養」に関する出前講座を受講した学生をねぎらう栄養会を開催しました。



教育・保育実習報告会の様子



第3回栄養会の様子

宮崎国際大学 教育学部ニュースレター

こども音楽療育士資格を取得できます

学長 山下 恵子



宮崎国際大学教育学部では、小学校教諭、幼稚園教諭の一種免許状及び保育士資格が取得できます。これらに加え、本年度より取得可能になった資格が、全国大学実務教育協会認定の「こども音楽療育士」資格です。

多様化し、複雑化する現代社会において、子どもたちの豊かな育ちを支援する教育方法が様々な角度から模索されています。近年、保育、教育、福祉の各領域において音楽は幅広く活用され、その実践研究が進められています。また、昨今の課題であります発達障がい児への対応という点においても、音楽を用いた療育は、子どもの心やからだを育てる発達援助の一手段として活用され、その意義深さが検証されています。

こども音楽療育士を取得するカリキュラムでは、小学校、幼稚園、保育所、児童福祉施設等において、心身の発達に役立つ療育の知識と技術を習得する人材の養成を目指しています。そして、音楽療育、障がい児・心理、保健及び音楽に関する科目を体系的に学んだ人に「こども音楽療育士」が授与されます。臨床・教育現場での実習は、宮崎学園短期大学内にあるこども音楽教育センターと清武町にある特別支援学校において行う予定にしています。

こども音楽療育士を取得することによって、障がいのある子どもたちを深く理解できる小学校教諭や幼稚園教諭・保育士が数多く誕生することとなり、教育現場への貢献が高まると考えております。

4年生を含む全学生が取得できますので、多くの学生が資格を取得し、現場で活躍していくことを心から願っています。

目次:

こども音楽療育士について	1
学生教職支援センターに2名が着任	1
今年度の抱負	2
こども音楽療育士科目を受講して	2
教育学部教員から	2
卒業した先輩から	3
英語力向上を目指して	3
教職クラブ	3
1,2年生交流会	4
オープンキャンパス	4

学生教職支援センターに2名が着任しました

自ら問うて学び、本物の力を

学生教職支援センター長 釋迦堂 幾則



『応用Iをもう一回、受講させてください。』と、3年生対象の特別対策講座に何人もの4年生が参加して、今年も緊張感のある引き締まった講座が始まりました。また、出前講座の後、私も3年生が中心になって企画した栄養会に参加し、4年生に対する感謝と激励の思い、そして皆さんの仲のよさ・結束力に感激しました。

今、全国的に、保幼小の円滑な接続、連携が強く求められています。本学では、小学校や幼稚園の教員一種免許状や保育士の資格を取得できる恵まれた環境にあります。そうした強みを生かし、待ちの姿勢ではなく、「自ら課題意識をもって問うて学んでいく」たくましい学びを期待します。そこでの学びが、社会に出てから生きて働く本物の力になると思います。

私は、これまでの教職経験や行政経験を基に、学生の皆さんに対して教職の魅力とやりがいについて伝えていきたいと思っています。一人一人の実態やニーズに対応したサポートに努めますので、どうぞ気軽に研究室を訪ねてください。

子どもと共に成長する教員を目指して

学生教職支援センター 福島 慎哉



4月より学生教職支援センターで教員を目指す学生のみなさんへの支援を行います福島慎哉です。主に宮崎県外を受験する3年生を担当しています。また、4年生の教員採用試験体育実技指導や、2年生の「忍ヶ丘教養Ⅲ」で国際理解教育について講義をさせていただきます。

3月まで小学校校長を勤めました。教諭中には県内の小学校3校の他、日本人学校に2校赴任しました。行政ではむかばき少年自然の家や長寿社会推進センターなど生涯学習や福祉関係の仕事及びスポーツ指導センターやスポーツ振興課などスポーツ・体育関係の仕事を経験させていただきました。これらの経験が教員を目指す学生のみなさんのお役に立てればと全力であたっていきたいと思っています。

特技は特にありませんが、趣味のゴルフや軽い運動で汗を流すように心がけています。

教員を目指す学生のみなさんが、子どもと触れ合いたい、子どもと共に成長していきたいと心から思えるように頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。

今年度の抱負

夢への第一歩

教育学部 1年 知花 幸佳子
(嘉手納高等学校出身)



私の将来の夢は、多くの児童に夢を与えられるような教師になることです。そのために『何事にも積極的に取り組む』を今年の抱負にし、1年生からしっかりと勉強したいと思います。特に児童とのコミュニケーションの取り方や、勉強を分かりやすく教える方法などを学び、教職クラブにも参加したいと考えています。

大学に入学してから、先生方や先輩方のお話を聞いて、教師になるということがどんなに大変かを改めて痛感しました。しかし、諦めないでしっかりと勉強していけば大丈夫というアドバイスを貰ったので、日々努力したいと思います。

教師になるためのサポートなどがとても充実しているので、教師になるために必要な知識や技術を吸収できればいいなと思っています。

また、教育についての講話、教師になるためのサポートなどがとても充実しているので、教師になるために必要な知識や技術を吸収できればいいなと思っています。

これからたくさんの困難があると思いますが、同じ夢を持った仲間たちと一緒に励ましあいながら頑張っていこうと思います。



保育教諭を目指して

教育学部 4年 長友 萌歌
(高鍋高等学校出身)

大学4年となり最後の学年となりました。子どもが大好きで、子どもの成長に関わりたいという思いがあり自分の目指す園で保育教諭として働くことを抱負としています。

視野を広げ、人とつながりたいという思いから今年度からスタートしたこども音楽療育士の資格取得にも励んでいます。この授業は1～4年生が揃っているので、授業の中で様々な視点から意見を聞くことも素晴らしいと思っています。演習では、「気づき、感じ、つながりあい、そして響きあう」ということについて視点を置いて学んでいます。こども音楽療育士を目指す私たちが、どのようにしたら対象となる子どもが音楽を通して自分を表現することができるのか、学びを深めているところです。

今後はあらゆる場面において自分にできることは何かということを考え、保育教諭として子どもたちの願いが実現できるような関わりや環境づくりができることを目指してさらに勉学に励んでいきたいです。

こども音楽療育士科目を受講して

教育学部 2年 今井 未来
(宮崎大宮高等学校出身)



私がこども音楽療育士科目を受講しようと考えたきっかけは、自らのスキルアップにつながれば、という漠然とした考えからでした。しかし、実際に受講して、私は音楽療育の素晴らしさを実感しました。この講義を通して特に心に残った点を二つを挙げます

第一に、音楽の力を学べる点です。講義の中で「音楽って、なんか、いいよね。」というフレー

ズを聞いて、確かに音には不思議な力がある、と改めて考えさせられました。抽象的であるのに、説得力があり、音楽の持つ可能性を感じることができました。このように思えるのも音楽の力なのかもしれません。

第二に、体感しながら学べるという点です。自分たちが、音を聴いてどう感じ、どう動くのかを経験するので、音と子どもたちのつなぎ方を考えることができています。

私は、音楽について多くのことを考える機会を得られました。このような場を設けてくださったことに感謝し、今後もより音楽療育の学びを深めていきたいと思っています。

教育学部教員から



今年4月に教育学部に着任いたしました日高まり子です。「こども音楽療育士」の資格取得のために今年度開設された授業を担当しています。授業では「こども音楽療育」の概論、実習、演習に取り組みます。

以前勤務していた特別支援学校の音楽の授業で、障害のある子どもたちとたくさん出会ってきました。子どもたちは目を輝かせ、心はずませながら音楽を楽しみます。何度も子どもたちと音楽でつながる感動を体験させてもらいました。私のかげがえのない宝物としての思い出となっています。

音・音楽を感じる 教育学部講師 日高 まり子

音や音楽を通して人間が感じる内面性は一人一人違いますが、「何か感じる」ことは同じだと思います。音・音楽のもつ力を体験しその効果的な活用方を理解することで、音楽の様々な可能性を感じることができるはずです。



「こども音楽療育概論」の授業

「気づき、感じ、つながりあい、そして響きあう」をテーマに、音楽教育指導の原点としての音・音楽を学生とともに「こども音楽療育」の学びを深めたいと考えます。

担当科目：音楽、音楽科指導法、保育内容指導法（音楽表現）、こども音楽療育、ピアノ・声楽

卒業した先輩からのメッセージ

宮崎市立加納小学校教諭 山元 美奈
(平成30年3月 宮崎国際
大学教育学部卒業)



私が受け持っている4年生は、5クラスあって、とても明るくにぎやかで、素直な子どもたちが多い学年です。着任して1か月がたとうとしています。が、忙しい毎日で大変です。予想外のことが多くてうまくいかないこともあります。しかし、子ども

たちがいつも助けてくれます。だから、子どもたちのためにがんばれます。どんなに忙しくても、子どもたちと一緒に笑い触れ合っていると、この子どもたちを絶対に自分が守るぞという気持ちになります。

最近、子どもたちに囲まれたり黒板の前に立って授業したりしていると、「本当に先生になったのだなあ」と実感します。後輩の皆さんにもこれを実感してもらうために、採用試験の合格を目指してがんばってほしいと思います。

予想外のことが多くてうまくいかないこともあります。しかし、子どもたちがいつも助けてくれます。

だから、子どもたちのためにがんばれます。どんなに忙しくても、子どもたちと一緒に笑い触れ合っていると、この子どもたちを絶対に自分が守るぞという気持ちになります。

英語力向上を目指して

教育学部講師 村端 佳子



英語力を向上させたい、という思いをよく耳にします。そのために英語を読んだり、単語を言ったり書いたり、いろいろな方法で勉強することができます。効果が出ているのでしょうか。出ているとしてもそれが実感できない、というのも英語の特徴ではないかと思えます。ここでは英語力向上のための三つのポイントを提案させていただきたいと思います。

第一に、具体的な目標を設定することです。英検2級・準1級を取る、TOEIC500点を取るといった目標を設定して勉強することは、漠然と「英語が話せるようになりたい」という思いよりもずっと効果があるはずです。

第二に、自分のレベルにあった英語にできるだけ頻繁に触れることです。いくら高いレベルを目指す！と心に決めていても、よくわからない英語ではあまり意味があると思えません。自分がいる所よりワンステップ上のレベルから始めてみてください。

第三に、勉強方法ですが、「書き取り」いわゆる「ディクテーション」を取り入れることです。聞こえる英語を文字にするのです。しかも、穴埋め式ではなくすべてを書き取ることです。リスニングのトレーニングに思えますが、文法構造がわかっていなければ正確に書き取ることができないので頭をフルに使います。いわば、聞きながらその文を自分で再生している、という作業なのです。書いていると自分の弱点がよくわかります。単語を知らない、文構造が理解できていない、見たらわかるのに発音がわからず読めない。当然、そのような箇所は書くことができません。書いたらチェックします。大切なことは、その後で再度自分で読んでみることです。しかも、聞こえるリズムやイントネーションを真似しながら読みます。これを続けていると、リスニングだけではなく、読む力もつき、早く読めるようになります。

英語の自主ゼミでは自分のレベルに応じて、英検やTOEICの問題に取り組んでいます。やはり、継続は力なり。自分が英語に費やした時間はきっと「実」になるはずです。コツコツと地道に続けていきたいものです。

クラブ紹介

教職クラブ

教職クラブ 部長 教育学部3年
池田 咲希子(武雄高等学校出身)



音読教材を使った模擬授業の練習

私たち教職クラブは、週1回活動しています。最近では1年生の加入により、人数も増え、より活気のあるクラブになりました。教職クラブのメンバーは、性別、学年を問わず仲が良く、いつも楽しく活動しています。また、学年を超えて「教育」について語ることができ、将来、先生になるための大切な知識や技能を習得しています。

5月には現職の小学校の先生をお招きし、学生セミナーを開催しました。学

校現場のことや授業のポイント等について学ぶ良い機会になりました。

メンバー同士で模擬授業をしたり、情報共有をしたりすることによって、自分自身を高めることができます。私は、教師になることが幼い頃からの夢でした。教職クラブは、同じ夢に向かって、切磋琢磨してみんなで学んでいくことができる場所です。教師になりたい人はもちろん、悩んでいる人でも、一度、教職クラブの活動を見学してみませんか。

1、2年生交流会を終えて

教育学部 2年 河野 瑞生 (宮崎南高等学校出身)

1年生の大学生活をより充実した楽しいものにするを目的として1、2年生交流会を開催しました。当日はアイスブレイク(震源地ゲーム)、グループに分かれての自己紹介、クイズ(イントロクイズ、教養クイズ)を行いました。多くの1年生が参加し、楽しそうにしている姿を見ることができました。共に企画、運営してくれた2年生に感謝しています。

本学教育学部の良さである縦のつながりが1、2年生にもできて良かったと思います。この交流会は今の3年生が企画し、今回で2回目になります。本学の伝統になるようにこれからずっと続いて欲しいです。



交流会でのゲームの様子

本学教育学部の良さである縦のつながりが、1、2年生にもできて良かったと思います。



交流会に参加した1、2年生

宮崎国際大学

〒889-1605 宮崎県宮崎市
清武町加納丙1405番地

電話: 0985-85-5931

FAX: 0985-84-3396

国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科



宮崎国際大学

2018

SUMMER OPEN CAMPUS

7/22

SUN

8/19

SUN

10:00▶14:30

無料送迎：JR宮崎駅、JR南宮崎駅、JR清武駅、延岡・都城方面

同時開催

ジェイソン教授の
リスニング対策講座

菅教授の
小論文対策講座

学食ランチ
無料

在学生・教員の話聞ける、
直接話せる！自分の目で見て
体験してください。

CONTENTS

- ◆学部説明
- ◆体験授業
- ◆学食体験
- ◆交流カフェ

入試広報室 **0120-85-5931**
admissions@sky.miyazaki-mic.ac.jp

オープンキャンパス
詳細は本学HPで
ご覧ください。



入試情報



学生募集要項
(PDF)

